

## 市民との意見交換会・報告書

開催地区：大戸地区	開催日時：令和5年5月16日（火） 18時30分 ～ 20時00分
担当班：第2班（出席議員）成田芳雄、斎藤基雄、中島好路、丸山さよ子、小倉孝太郎	
開催場所：大戸公民館	
参加人数：男性 12名、女性 0名、合計 12名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 1名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 2月定例会議について	
・会津若松市議会が先進議会であることについての説明を求められた。	
② 所管事務調査報告について	
・特に質問・意見はなかった。	
③ 大戸地区のまちづくりに向けた課題について	
・少子高齢化、人口減少が顕著になったことへの対策に、複数の質問がなされた。	
・小規模特認校への学区外からの通学費についての補助に対する要望があった。	
・大戸地区での独自の取組に対して、理解を求める要望があった。	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について		※分類 ※番号		●議会に関するもの ○市政に関するもの ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項		※項目 キーワード
市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		分類	番号	対応
		分類	番号			
会津若松市議会は、マスコミなどの報道によると先進的議会だと言われているが、どのような点が挙げられるのか。	今回のように、市民との意見交換会では会派を越えて班を構成して市民意見を聞いているところや、議長選挙の時には所信表明をしているところがある。また、議決に対する賛否を広報議会で公開していたり、政策サイクルを回しているところなども評価されていると考える。	●	①			議会改革
議会中継しているユーチューブの画質が良くない。また、一部の議員しか映っていないのはおかしいと思う。	貴重なご意見として伺う。	●	②			見える化
	大戸地区のまちづくりに向けた課題について教えていただきたい。					
大戸地区でも少子高齢化が進んでおり、人口減少に悩んでいる。若者がいないと地域は廃れてしまうことから、本市全体でも移住促進がなされるべきであり、補助や情報発信が大切だと考える。市としては具体的にはどのように考えているのか。	市では、二地域定住に関する相談窓口をまちなかに設定して、本市への移住や定住されたい方の相談を受けたり、市民の方との交流イベントを行っている。しかし、まだ十分な実績だとは言えない。若者の移住には、働く場所の確保が必要である。市では工業団地の造成に向けて動き始めているが、5年計画であり、今後場所の選定を行っていくところである。	○	①			まちづくり
計画性をもって人が来たいと思えるような環境作りが必要であり、若者の働く場所は欠かせないものである。県立病院跡地では周辺の道路整備やポケットパーク、景観なども大切にしたいし、野岩・会津鉄道をもっと生かせる取組も必要である。駅構内のショッピングモール、飲食店などがあると良いと思う。	ごもっともな意見であり、各分科会の中で議論しているところである。今日いただいた意見を改めて各分科会に持ち帰って議論を継続していきたい。	○	②			まちづくり

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について		※分類 ※番号		●議会に関するもの ○市政に関するもの ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項		※項目 キーワード
市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		対応		
		分類	番号			
少子化で人口が減っているが、その中でも大戸地区は減少が大きいと感じている。映画館やショッピングするところもなく、郡山や山形などに行ってしまう。少子化対策として、子どもの人口をどのように増やしていくのか取組を聞きたい。	県立病院跡地の利活用については、現在、ワークショップやパブリックコメントを実施しているところであるが、基本は子育て支援施設をメインとして考えている。その上で、映画館や商業施設についても市民から要望が出ている。令和5年度の予算でも、多子世帯支援拡充などの少子化対策や人口減少対策事業の予算が多く付いている。スマートシティの取組も、デジタルを活用して住みやすい、子育てのしやすい環境を作ろうとしているものである。	○	①		少子高齢化	
電気柵周辺の草刈の人足代を出しているが最低賃金にも満たない。多面的機能支払交付金を増やしてほしい。	多面的機能支払交付金は国の制度であり、市としての上乗せは難しいところである。賃金については、組織の中で検討してほしい。	○	①		農業	
道の駅の要望も出しているので、インターチェンジの場所が知りたい。高規格幹線道路の内容はいつ頃明らかになるのか。	高規格幹線道路は、国と県の事業であるので中々情報が入ってこない。早く公表するように言っているが、まだ決められないでいる。	○	①		道路	
大戸地区の活性化のために竹林を活用してまちおこしをしたいと考え、竹炭で消臭剤を作ったり、肥料を作ったりして商品化につなげている。大戸マルシェや高齢者の送迎なども行っており、ボランティアが足りない状況である。小規模特認校もできて、まちづくり協議会も今年からNPO法人になるなど、様々な活動を行っているので、大戸地区の取組にもっと関心を持ってもらいたい。	議員が今後、しっかりと関心を持って、様々な形で地域に入って実状を知るように取り組んでいきたい。	○	②		まちづくり	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について		※分類 ※番号		●議会に関するもの ○市政に関するもの ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項		※項目 キーワード
市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		対応		
		分類	番号			
小規模特認校になって、地区外からどれだけの児童・生徒が通ってきているのかを知っているのか。学校に行けなかった子どもたちが学校に来ることができるようになったことを重く受けとめて欲しい。市は、自らの意志で学区外から通うのだから通学費は出せないと言うが、放課後子どもクラブにはタクシー代を出している。まちづくり協議会では支援金を出そうと考えているが、議会でも応援して欲しい。	学区外からは、小学生8人、中学生2人が通っていると聞いている。	○	①		学校教育	
なぜ通学費がでないのか。教育は国で保証されているのではないのか。	教育委員会では要綱の中で保護者の責任と負担において通学することを要件としている。しかし、他の学校では遠距離通学助成事業等、通学に対する支援があることから、小規模特認校においても支援について考える必要がある。文教厚生委員会でも大事な視点として議論していく。	○	①		学校教育	
県道(会津高田上三寄線)ではあるが、信号を渡ってからゴミステーションに行くまでの歩道の除雪が十分ではないときがあり、車道を歩くことになってしまい危険であるため、除雪をしっかりとやってほしい。	県道だと県の担当になってしまうが、市民生活に影響のある問題なので、市(道路課または環境生活課)を通して建設事務所に除雪を要望してみると良いと思われる。	○	①		雪害対策	
小谷地区では、平成5年の台風の際、流木や土石流があって大きな水害があった。今後も線状降水帯のこともあり、護岸工事を陳情しているが、要望・陳情の優先順位はどのようになっているのか。	優先順位については、前回(第26回)の大戸地区の事後報告書のP7に書いてあるとおりである。令和2年は66件の要望があり、58件対応している。	○	①		行政	
老人クラブの補助金が、昼食の弁当はダメとなった。あまり締め付けてしまうと脱退するところまで来てしまっている。今年2月に、去年の分から領収書も確認したいと言われて困っている。	弁当は除外されるとの通知の後、お昼をまたぐときには認められるように見直しされた。不明なことについては高齢福祉課に相談していただきたい。	○	①		高齢福祉	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について				※分類 ※番号	●議会に関するもの ①回答(処理)済	○市政に関するもの ②ご意見として伺った事項	※項目 キーワード
市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード		
		分類	番号	対応			
<p>闇川から黒森に抜ける谷地平線が整備されたが、その後の管理がなされていないため、ガードレールの損傷や法面の崩壊、雑木の繁茂などが見られる。定期的に整備してほしい。</p>	<p>農林課が所管なので、メンテナンスされていないことを伝えておく。</p>	○	③	<p>担当課に伝え、事後報告する。 (事後処理報告書P6に記載)</p>	林道		
<p>昨年の市の研修会で、会津若松市の住みやすさランキングが全国812市町村の中で66位と聞いた。もっとPRしたら市民も安心できるし、移住も増えるのではないかと。ぜひ、市政だよりも載せてほしい。</p>	<p>担当課(秘書広聴課)に伝える。</p>	○	③	<p>担当課に伝え、事後報告する。 (事後処理報告書P7に記載)</p>	行政		

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 林道（谷地平線）の整備について （P 5）</p>	<p><b>【市民からの要望・質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閨川から黒森に抜ける谷地平線が整備されたが、その後の管理がなされていないため、ガードレールの損傷や法面の崩壊、雑木の繁茂などが見られる。定期的に整備してほしい。</li> </ul> <p><b>【事後処理結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年5月24日に農林課に確認したところ、該当する林道については定期的なパトロールの他、台風や大雨が降った後などに巡回をしているとのことであり、最近では、ゴールデンウィークの後に巡回して、安全を確認している。</li> <li>・基本的には、市の職員が対応しているので、整備についての要望等があれば、農林課へご意見をお寄せいただきたいとのことであった。</li> <li>・農林課への確認の結果、市としては該当の林道については対応していることが分かったが、地元住民の要望の更なる把握に務める必要があると考える。</li> </ul>	

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>2. 本市の情報伝達について (P 5)</p>	<p><b>【市民からの要望・質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の市の研修会で、会津若松市の住みやすさランキングが全国812市町村の中で66位と聞いた。もっとPRしたら市民も安心できるし、移住も増えるのではないか。ぜひ、市政だよりも載せてほしい。</li> </ul> <p><b>【事後処理結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年5月25日に秘書広聴課に確認したところ、市政だよりは市の施策と関連させた記事載せることを基本としているとのことだった。</li> <li>例えば、住みやすさランキングについては、本市への定住・二地域居住といった施策と併せて掲載することで、より理解を深めていただくことが期待できると考えており、今後も、より効果的な情報発信のあり方について検討していきたい、との回答を得た。</li> <li>・ 秘書広聴課への確認の結果、市政だよりの編集方針は理解できたが、本市の情報伝達手段としてSNS発信なども行っていることから、市のさまざまな施策の紹介や市民の安心な生活の確保のためにも、さまざまなツールを活用していく必要があると考える。</li> </ul>	